


活動報告書

活 動 名	第11回 能登半島地震・豪雨被害支援	
活動経緯・目的	継続的な支援として、佐賀から能登までキャンピングカーを使って4名で被災地を訪問した。	
活動期間	2025年 11月21日（金）～ 27日（木） ※うち活動は4日間	
新規・継続	自主事業・助成金	あり（佐賀未来創造基金 10万円）
ボランティア	4名	
協力団体	OPEN JAPAN、ラブ&アース、NGO法人リザルツ、一般社団法人あまね	
参加者	合計117名 8か所（能登市内） 23日（土） ミセス日の丸10名、清真公民館19名 24日（日） オープンジャパンベース8名、高倉公民館13名、久田集会所14名 25日（月） 鶴川公民館29名 26日（火） 上町公民館12名、岩井戸公民館12名	
工 程 表		
日時	活動内容	写真
11月23日（日） 8:00 10:00 12:00 13:30 16:30	オープンジャパン朝礼 ミセス日の丸 片付け・昼食 清真公民館 終了	
11月24日（月） 8:00 8:30 10:00 13:00 14:00 16:30	オープンジャパン朝礼 オープンジャパンベース 高倉公民館 昼食 久田集会所 終了	
11月25日（火） 8:00 10:00 12:00 13:00 16:30	オープンジャパン朝礼 カフェ準備など 鶴川公民館 昼食 施術 終了	
11月26日（水） 10:00 12:00 13:00 16:30	上町公民館 昼食 岩井戸公民館 終了	
良かった点・成果	ソシオエステティックを必要な方に届けられたこと。また、継続的に活動することの意味を深く考えさせられた。支援を通して能登の方からいつも大きな力と笑顔を頂き、ケアする側のスキルがアップを実感できた。今回は、講座を修了したメンバー2名と共に能登を訪問でき、有意義な活動となった。	
課題・改善	ソシオの杜の能登被災地支援の成果をまとめて発表し、活動継続の必要性を訴えていく必要がある。	
今後の広がり	活動を通して時の経過と共に支援の手が減少していることから、現地の方は「忘れられた」という寂しい気持ちもあり、未だに支援の格差が発生している。ソシオエステティックの活動と共に対外に知らせていき、継続的な支援につなげていく。	